

2026 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 スミダコーポレーション株式会社
代 表 者 名 代表執行役 CEO 堀 寛二
証券コード 6817 東証プライム市場
問 合 せ 先 広報・IR チーム Tel. 03-6758-2470

Infineon Technologies AG との次世代電力変換システムの共同開発 のお知らせ

SUMIDA と Infineon Technologies AG(以下「Infineon」)は、Solid-State Transformer (SST) を実現するための中核技術分野である、次世代中周波変圧器 (MFT) の開発を共同で進めています。本協業は、Infineon のパワー半導体技術におけるリーダーシップと、SUMIDA の高性能磁気部品に関する専門性を組み合わせるものであり、とりわけ AI データセンター、超高速充電インフラ、送配電網の近代化における電装化の急速な進展に伴う要求に対応するものです。

中核技術分野：SST 向け中周波変圧器

SST システムは、より高い効率、小型化及び高度な制御を可能にする次世代の電力変換技術として注目されています。これらのシステムの中核に位置する中周波変圧器は、従来の変圧器と比較して高速スイッチングにて動作し、以下を可能にします。

- 小型・軽量化（資源使用量の削減）
- 電力密度および効率の向上（損失電力の低減）
- 双方向電力伝送機能の強化（効率的なスマートグリッドを実現）
- 拡張性を有するモジュール型電力システムへの統合（高い柔軟性）

SUMIDA の先進的な磁気設計技術は、特に磁性材料、巻線技術、熱最適化及び中電圧交流系統に求められる高度な絶縁要件への対応において、Infineon の最新ワイドバンドギャップ半導体技術と高い親和性を有しています。これにより、最大 3.3kV の CoolSiC™デバイスを活用した最適なシステム性能を実現します。

PCIM Europe 2026 での共同展示

本協業における成果の一つとして、パワーエレクトロニクス分野における世界有数の展示会である PCIM Europe 2026（ドイツ・ニュルンベルク）で開発成果を披露しました。その中で、

- SUMIDA が開発した中周波変圧器「Granite」を Infineon ブースに展示し、
- 半導体と磁気部品の技術を融合したソリューションを示し、また、
- 両社の強固な協力関係と今後の技術開発の方向性を示しました

PCIM において業界関係者から頂いた高い評価は、統合型 SST ソリューションの重要性が高まっていることを示すとともに、本協業が目指す技術開発の方向性の妥当性を示すものとなりました。

本協業は、SUMIDA が次世代電力変換システム分野における重要な担い手として、以下を通じて存在感を高めるも

のと考えています。

- 高成長が期待される SST 市場および高出力電装化市場への参入
- 先進磁気技術分野における技術的リーダーシップの強化
- グローバルな半導体ソリューション企業との戦略的パートナーシップの拡大
- 差別化されたシステムソリューションを通じた長期的な価値創造

総括

Infineon と SUMIDA の協業は、パワーエレクトロニクス分野における協調的かつ未来志向の革新的な取組みを体現するものです。両社はそれぞれの補完的な強みを結集することで、高効率・小型・高い拡張性を備えた SST ソリューションの開発を加速し、次世代の電化インフラ実現への道を切り拓いてまいります。

【Infineon Technologies AG について】

Infineon Technologies AG（本社：ドイツ・ミュンヘン）は、半導体ソリューションを提供するグローバル企業です。自動車、産業・インフラ、コンシューマー・コンピューティング&コミュニケーション分野向けに事業を展開し、脱炭素化とデジタル化の推進に貢献しています。

以 上
